



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区  
まちかど  
政治瓦版



令和6年7月1日号  
発行

自民党  
神奈川1区支部  
発行責任者  
平木 茂

7月号  
2024年

No.256

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/>

ご意見箱▶[opinionbox@jun.or.jp](mailto:opinionbox@jun.or.jp)

## LINK (絆/つながり)とAI (愛/合い) の街に

### LINKAI 横浜金沢

### 働く魅力のある、人が集まる地域にしたい

日本一の港湾都市横浜、その一つの顔が海外との窓口であり、貿易港としての姿です。そして、臨海部には工場が集まり、人々が働く場が作られ、そこにもう一つの街の姿が生まれました。

LINKAI横浜金沢は、横浜市による「根岸湾埋立事業」や六大事業の一つである「金沢地先埋立事業」により造成された金沢区臨海部の埋立地に、卸売業や製造業を中心とした中小企業が集まる市内随一の大規模産業団地です。



台風15号(令和元年)の大被害から復活を果たした金沢産業団地です

“LINKAI”には、臨海部の“臨海”の意味の他に、“LINK (絆/つながり)”と“AI (愛/合い)”の2つの意味があります。多くの中小企業が集積する環境の良いこの地域を、働く魅力のある、人が集まる地域にしたい、という想いが込められています。

その中核の一つとなるのが横浜市金沢団地協同組合で、昭和47年4月に鳥浜町で操業する中小企業によって設立され、令和4年に50周年を迎えました。

横浜市金沢団地協同組合が位置する鳥浜工業団地は金沢臨海部と共に発展してきました。金沢シーサイドライン(平成元年)や湾岸道路の開通(平成13年)、「ランチ横浜南部市場」の進出(令和元年)、「三井アウトレットパーク」がリニューアルオープン(令和2年)する等、賑わい施設も充実しています。流通・産業及び商業の中心としてさらに発展が期待されています。

そして平成27年度には、鳥浜工業団地・金沢産業団地の工業団体等により、「金沢臨海部産業活性化研究会」が設立され、金沢区役所、横浜市経済局と一体となって、「働く魅力のある、人が集まる産業団地」を目指すことを確認し、様々な議論を進めてきました。さらに平成29年には金沢臨海部産業活性化プランを策定し(令和3年改訂)、単なる工業団地ではなく魅力ある街としての発展を目指しています。

少子高齢化が進む中で、人手不足も本格化しています。この状況で人を集めるためには街としての魅力が重要であり、同時に交通インフラなどの整備で都市部への移動時間を短縮することが必要です。また、地域資源としての産業という観点からは、金沢臨海部及び周辺の公的研究施設や大規模処理場において、社会学習や一般市民の見学を受け付けており、地域の魅力を発信する大きな要素となっています。

例えば、国立研究開発法人海洋研究機構横浜研究所では「地球シミュレータ」の研究結果や様々な海洋調査の成果を見学することができ、横浜市資源循環局の金沢工場は最新のゴミ処理の状況、横浜市環境創造局の南部汚泥資源化センターでは汚泥を資源化する過程を見ることができます。金沢シーサイドラインの車両基地、運行管理システムも見学が可能です。

松本純は地元の政治家として、これらの活動や計画に出来る限りの働きかけを行ってきました。令和元年の台風15号で金沢臨海部が大きな被害を受けた際、国や横浜市に要請し早期の支援が決定したのもそうした結果のひとつです。今後も「LINKAI横浜金沢」の発展に力を尽くしてまいります。

いま地域で  
(ひと・まち・出来事)

## 人と人が触れ合う人情味のある商店街にしていきたい

磯子区商店街連合会会長 柿木 稔さん



柿木 稔 新会長

磯子区商店街連合会には、磯子区内の14商店街、約330店舗が加盟しています。5月17日に開かれた連合会の総会で、7年間務められた田村正前会長の後を受け、柿木稔さんが新会長に選任されました。柿木会長は JR根岸線「洋光台」駅に在る商店街・サンモール洋光台の会長でもあり、こだわりの味で人気の「洋光台ハンバーガー Pass Time」を営んでいます。

5月25日には磯子区商店街連合会朝市を開催。食品販売や福引き、ふれあい動物園などを実施し、約2,300人のお客様が来場したとのこと。今後9月に「磯子まつり」、12月に朝市の開催を計画しています。

「人と人が触れ合う人情味のある、昔ながらの商店街にしていきたい。磯子区にある14の商店街が協力して地域の皆様に楽しんでもらえるよう取り組んでまいります。地元商店街をどうぞご利用ください」と話す柿木さん。さらに、日本全国で商店街の過疎化が進む中「1店舗でもお店が閉店しないように何とか営業を元気に続けられるようにするのが一番。また令和9年の磯子区制100周年に向けて力を合わせて磯子区を盛り上げていきたい」と語りました。

【2024年6月】

松本純の活動記録

- 1日●森浅間神社陰祭式典・下宮ご例祭式典  
●2024基隆和平LC訪日団歓迎会
- 4日●自民党横浜市連大会
- 5日●マンション計画修繕施工協会総会懇親会
- 8日●社労士による松本純を囲む会総会・懇親会
- 11日●吉田町町内会・名店街会役員会・市況研究会  
●中区薬剤師会理事会 (ZOOM開催)

- 13日●神奈川県船舶商生活衛生同業組合令和6年第67期総代会・総会
- 14日●川本工業(株)創立94周年記念式典・懇親会
- 15日●自民党中区連合支部党員総会  
●防衛諸団体合同懇親会  
●山純会
- 16日●杉田十日会商店街例会



6/2 神奈川県自動車整備事業磯子金沢支部総会 ●相談役の松本純は「大変難しい時代を迎えていますが、各種スキルで対応し世界をリードするチャンスを掴まれることを期待しています」とエールを送りました。



6/5 横浜華僑各界慶祝賴清德先生就任中華民國第16代總統・蕭美琴女士就任中華民國第13代副總統祝賀茶会 ●日本と中華民國台湾両国の更なる交流を願う茶会に許權康会長が感謝を、松本純も祝辞を述べました。



6/12 神奈川県社会保険労務士会・政治連盟令和6年度通常総会後の懇親会 ●お招きいただいた松本純は、中屋裕仁・県社労士会会長、青木次朗・同政治連盟会長はじめ多くの社労士の先生方と意見交換を行いました。



6/18 社会福祉法人清光会理事会 ●山田泰之理事長の挨拶に続く議事で、理事に選任された松本純は、自身の母親が施設に入居した途端に元気になった例を挙げ「施設拡充の重要性を感じております」とご挨拶しました。

永田町日記

## 「まさかの時の友こそ、真の友 (患難見真情)」

台湾で再生医療法が成立！きっかけは、大惨事で注目された日本の再生医療

6月4日、台湾で再生医療法が成立しました。当日、石崇良衛生福利部中央健康保健署長(衛生部次官、前コロナ対策室長)を中心とした勉強会が開催され、松本純はリモートにてゲストスピーカーとしてご挨拶させていただきました。

石氏によると台湾が再生医療に注力しようと考えたのは2015年のプールでの粉塵火災が原因との事でした。520人以上の被害者と15人の死者がでる大惨事となりましたが、この際、日本から提供された培養皮膚で致死率100%近い3度熱傷70%以上の若者7人の命が救われたとの事です。

そこで日本から再生医療を学び、発展に向けて法制化を進めたとの事でした。また、6月4日は、台湾がワクチン調達に苦戦する中、日本から『命のワクチン』が贈られた日という事で謝意が述べられました。私からは、コロナ禍で防護服不足が深刻化する中、会合参加者の呉基哲理事長から二万着のレインコートを無償寄付していただいたお礼を申し上げ、日台のさらなる連携を確認しました。



石崇良 衛生福利部中央健康保健署長